

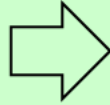
水稲栽培を中心に生産者と消費者との交流を目指す多様な経営の展開 ～(株)西本農園(西本 龍二氏) [比布町]～

経営体の概要

事業実施前：平成14年

基幹作物：水稲、小麦、大豆
いちご(ハウス)

経営面積：18.4ha



事業実施後：令和2年

基幹作物：水稲、小麦、大豆
いちご(露地)

経営面積：26.9ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

水稲を中心とした経営を行っていたが、本事業(用水路のパイプライン化等)により用水の安定供給と漏水防止が図られ、用水管理労力が大幅に軽減された。これを契機に規模拡大とほ場整備等で大区画化を図った。

また、農作業受託組織を活用し「大豆・小麦立毛間播種栽培」で農作業の省力化を図り、さらに、経営にゆとりが生まれ新たな取組として観光農園(いちご狩り)の開設、農産物直売所の運営会社の設立、民泊施設の運営など、生産者と消費者との交流を図り、地域の活性化を目指す多様な経営を展開している。

営農改善のポイント

①6次産業化

夏場のいちご狩り観光農園は子供からお年寄りまで幅広い世代から需要が多く、農園利用者が少ない時は、いちごジャム原料として出荷するなど、付加価値の向上を図っている。

民泊「宿屋Yadokari」は離農した農家住宅を自ら改築したもので、都市と農村の交流の場として令和2年にオープンし、一軒家貸切方式で利用されており、インターネット環境も備えている。



民泊「宿屋Yadokari」

②企業参入

本事業によって農業経営にゆとりが生まれ、観光農園や民泊などを進めていくために令和元年に(株)西本農園に移行し、また、農産物の直売施設を運営するために若手農業者5名で平成30年に(株)Nexpeak(ネクスピーク)を設立し直売所「NaNa(ナ)プラザ」の運営に携わっている。



NANA(ナ)プラザ(直売所)

③作物の変化

用水施設の完備とほ場整備による大区画化から省力化を図り、水田作業に余裕が生じ、減化学肥料や減農薬にこだわった「特別栽培米」やいちご狩り用の露地栽培に取り組みを強化している。



特別栽培米収穫(生産ほ場)

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：北海道旭川市、上川郡鷹栖町、
同郡比布町、同郡愛別町

受益面積：3,232ha

事業期間：平成15年度～平成27年度

事業目的：用水改良

主要工事：頭首工1箇所、用水路27.1km

位置図(北海道)



ぴっぷ地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業振興課 調整係

電話：011-709-2311

(内線5684)

(令和2年度調査時点)